

さいたま市立大宮八幡中学校

〔学校教育目標〕心豊かでたくましい、

広い世界に生きる人間の育成

学校だより **きゃら**

「大宮八幡中学校の樹」

第4号

令和8年7月1日 発行



さいたま市見沼区大字南中丸357

TEL 048-687-8800

FAX 048-687-9301

挑戦

校長 下館 文雄

季節外れの台風の接近や蒸暑い日が続き、天候の変化が大きい時期となっています。5月25日(月)から中学校総合体育大会さいたま市予選会が始まり、うれしい1勝を勝ち取った部活や悔しい思いをした部活もありましたが、団体戦では女子バスケットボール部優勝、女子バドミントン部5位、女子卓球部5位、個人種目では、陸上競技走り幅跳びで大津和花さんの優勝をはじめ、陸上競技、剣道、女子バドミントン、女子卓球、柔道、水泳、体操の種目で結果を残し、県大会に出場します。

さて、現在開催されているFIFAワールドカップで、日本代表は世界の強豪国を相手に堂々とした戦いを見せてくれました。選手一人ひとりが高い目標に向かって努力を重ね、チーム一丸となって挑戦する姿は、多くの人々に感動と勇気を与えてくれます。

その中でも注目されているのが、日本代表の守護神である鈴木彩艶選手です。鈴木選手はさいたま市出身で、若くして海外リーグで経験を積み、日本代表のゴールを守る中心選手へと成長しました。現在は、イタリアのクラブで活躍し、その安定したプレーと冷静な判断力が高く評価されています。鈴木選手は、小学生の頃から「世界一のゴールキーパーになる」という夢を持ち、努力を積み重ねてきました。周囲への感謝と謙虚な姿勢を大切にしながら成長し、今では世界の舞台で日本のゴールを守っています。鈴木選手は、自分のミスや失敗から学び続けること、そして常に成長を目指して努力することの大切さを語っています。また、「チームに安定感をもたらしたい」という思いを持ち、仲間を支える存在でありたいと考えているそうです。

私たちも学校生活の中で、勉強や部活動など様々な場面で挑戦する機会があります。うまくいかないことがあっても、鈴木選手のように失敗を成長の糧とし、仲間を大切にしながら努力を続けていきたいものです。

日本代表を活躍とともに、地元さいたま市から世界へ羽ばたいた鈴木選手の姿から、多くのことを学んでいきましょう。そして県大会に出場する皆さんの健闘を祈ります。



【校長室横の優勝トロフィー】